

TORANOTEC アクティブジャパン

追加型投信／国内／株式

TORANOTEC
ACTIVE JAPAN

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

■ 投資信託説明書のご請求、お申し込みは



商号等：香川証券株式会社
金融商品取引業者：四国財務局長（金商）第3号
加入協会：日本証券業協会

■ 設定・運用は

TORANOTEC
ASSET MANAGEMENT

TORANOTEC投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第384号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

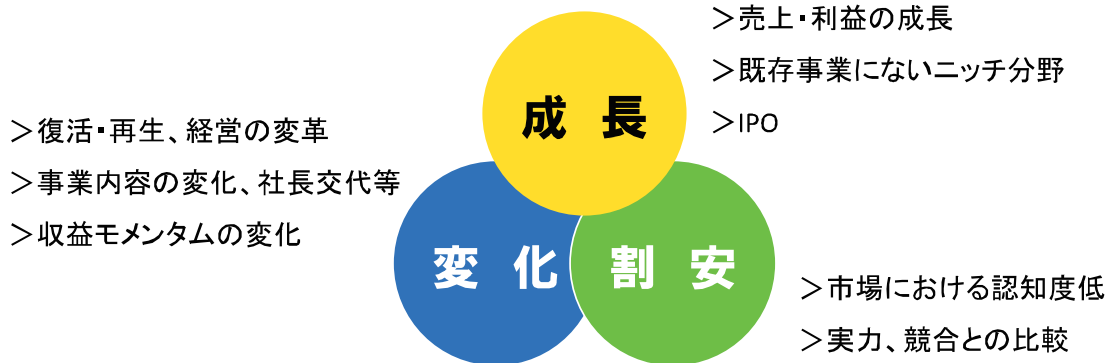
投資信託は、その商品の性格から次の特徴をご理解のうえご購入くださいますようお願い申し上げます。

- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象となりません。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資するため、投資元本及び分配金が保証された商品ではありません。
- 投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- 投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。
- 本資料は、TORANOTEC投信投資顧問が作成した資料であり、法令に基づく開示資料ではありません。

TORANOTECアクティブジャパンは、 わが国の中小型株式を主要投資対象とします。

「成長」「割安」「変化」に着目、わが国の成長性の高い銘柄に投資します。

- ・主として上場企業（上場予定を含む）のうち中小型株に投資します。
- ・「企業の成長性」に着目し、「株価が割安な優良企業」や「変化する企業」など様々なタイプの銘柄をブレンドし、バランス感覚をもって分散投資します。



キーワードは「数倍化」、光る銘柄の発掘、そして、じっくり待つ！

事業の成長性、高収益の維持や向上、収益構造の変化で企業が変身できるか…など、あらゆる点から企業を見つめた分析を行い、その中から「数倍化＝株価が現在の数倍に成長する」可能性のある銘柄の出現をじっくり待ちます。

※ファンドの組入銘柄の株価やファンドの基準価額が数倍上昇することを保証するものではありません。また、複数の銘柄に投資するため、一部の銘柄の時価が高騰した場合も他の銘柄の時価が下落した場合には、ファンドの基準価額が下落することもあります。



ポートフォリオのイメージ：厳選した銘柄と丁寧なリスク調整

- ・ファンドの組入銘柄数は30～50銘柄程度（運用資産規模によって変動します）
- ・株式の組入比率を柔軟に調整します。
重大な政治イベントや企業決算発表などで市場が動揺しそうな時には、株式の組入比を減少させてリスクの抑制を目指します。

※市場環境によっては、想定通りの投資行動がとれないことがあります。

銘柄選択の実例

成長 情報通信A社

クラウドファンディングサービス。コロナ禍でオンラインシフトが加速し利用増加で急成長。

株価の推移



割安 電気機器B社

屋外用エンジン発電機・溶接機において国内で高シェア。海外でも世界150カ国以上の国々で使用され高評価。

株価の推移



変化 卸売C社

歯科医院、歯科技工所向けの材料・器具などの通信販売から一般診療所や介護・福祉施設、動物病院などへ顧客層が拡大。

株価の推移



※上記グラフは2019年8月末～2020年8月末の実際に組入れを行った銘柄の株価の推移を表示しています。この期間に上場した銘柄については上場日からの株価の推移を表示しています。

※上記は組入銘柄をイメージしていただくために、実際に組入れを行った銘柄の着目点別の好事例をご紹介していますが、これらは特定の銘柄の過去の実績であり、ファンドの将来の運用成果を約束するものではありません。したがって、銘柄選択の結果、必ず組入銘柄が上昇するとは限りません。

TORANOTEC (トラノテック) 投信投資顧問株式会社は・・・



当社は1998年に設立され、“すべての人を投資家に”の社是の下、人びとの明るい未来に向けた資産形成のお手伝いをするを使命としています。ポートフォリオの一部としてご選択いただける特定の資産クラスに特化したファンドやコツコツと資産を積み上げていく資産運用サービス「トラノコ」等、投資初心者から機関投資家まで幅広くご利用いただける資産運用サービスを提供しています。

なお、100%親会社のTORANOTEC株式会社には、セブン銀行、楽天、講談社などの大手企業グループが出資しています。

当ファンドにかかるリスクについて

ファンドは、株式や公社債など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、ファンドは、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

- ① 株価変動リスク…株式市場が国内外の政治、経済、社会情勢の変化等の影響を受けたり、また株式の発行企業の業績悪化、信用状況の悪化などで、基準価額が下落する可能性があります。
- ② 金利変動リスク…金利変動により債券価格が変動するリスクをいいます。一般に金利が上昇した場合には、債券価格は下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
- ③ 信用リスク…公社債および短期金融商品の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利息や償還金をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなるリスク（債務不履行）をいいます。
- ④ 流動性リスク…有価証券等を売買しようとする場合、需要または供給がないために、有価証券等を希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができないリスクをいいます。
- ⑤ 投資信託に関する一般的なリスク
- ⑥ 運用体制の変更ならびに運用責任者の交代に関するリスク

お申込みメモ	
購入単位	販売会社が定める単位（詳しくは販売会社にお問合せください。）
購入価額	購入申込受付日の基準価額（ファンドの基準価額は1万口あたりで表示されます。）
換金単位	最低単位を1口として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
換金制限	資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には制限を設ける場合があります。（詳しくは販売会社にお問合せください。）
申込締切時間	営業日の午後3時までに販売会社が受け付けたものを当日の申込分とします。

お客様にご負担いただく費用について

直接的に負担する費用	
購入時手数料	取得申込受付日の基準価額に、 3.30%（税抜3.00%） の率を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額とします。申込手数料の詳細につきましては、販売会社にお問合せください。
換金時手数料	ありません
信託財産留保額	ありません

信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドを保有している期間、保有している金額に対して 年0.88%（税抜0.80%） 。 (配分（各税込）：委託者0.4235%・販売会社0.4235%・受託者0.0330%)
その他の費用・手数料等	<ul style="list-style-type: none"> 信託事務の処理に要する諸費用（監査費用、目論見書等の印刷費用等、ファンドの純資産総額の年0.11%（税抜0.1%）を上限とします。） 有価証券売買時の委託手数料、租税等

※ファンド費用の合計額は、投資者がファンドを保有する期間等に応じて異なりますので、事前に表示することができません。

税金		
<ul style="list-style-type: none"> 税金は表に記載の時期に適用されます。 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。 		
時期	項目	税金
分配時	所得税、復興特別所得税 および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金（解約）時 および償還時	所得税、復興特別所得税 および地方税	譲渡所得として課税 換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益） に対して20.315%
<p>※上記は、2020年8月末日現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。</p> <p>※少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、年間120万円の範囲で、未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、年間80万円の範囲で、新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。NISA、ジュニアNISAのご利用には、販売会社での専用口座の開設等、一定の要件があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。</p> <p>※法人の場合は上記とは異なります。</p> <p>※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。</p>		